

## 令和6年度第5回

### 隠岐の島町立小中学校のあり方に関する検討委員会 会議録

1. 開催日時 令和6年10月25日(金) 13時30分～15時00分

2. 開催場所 隠岐の島町役場 3階 303会議室

3. 出席者

1号委員	角脇 一夫	富田 信吾
2号委員	吉田 輝美	吉山 明利
3号委員	池田 明生	吉崎英一郎
4号委員	常角 辰夫	佐藤 格丈
	石田 千恵	

【事務局】

総務学校教育課長		金井 和昭
総務学校教育課総務係	係長	大上 達也
総務学校教育課総務係	企画幹	村尾 駿

4. 欠席者 なし

5. 報告事項 前回会議録の確認

6. 会議の経過 別紙のとおり  
議録作成者 総務学校教育課 総務係 大上達也

## 別 紙（会議の経過）

【事務局】開会前に、出席者の確認と前回会議録の確認のところまで事務局の方で進めさせていただきます。レジメの裏面をめくっていただければと思います。委員の方は皆さんご出席いただいております。事務局からは金井課長以下3名が出席しています。事前に会議録を郵送しておりますので、ご確認いただいているかと思っております。前回会議録の確認ですが、事前に送付させていただいた際に、修正点があればご連絡くださいとご案内しておりましたが、今日現在のところ、特に連絡はありませんでした。よろしいでしょうか。

【委員】事前に連絡していなくて申し訳ないが、1カ所、不要な言葉が入っているところの修正が必要だと思う。確認してほしい。

【事務局】確認して修正します。修正したものをホームページで公開します。では、委員長ご挨拶をお願いします。

### 1. 委員長あいさつ

【委員長】今日は第5回の検討委員会となりました。委員の皆様にはそれぞれ、お仕事の調整をされながらのご出席と思います。大変ですけれども、よろしく願いいたします。今日は検討委員の要望によりまして、隠岐の島町総合振興計画について地域振興課長さんから話をいただくことになっております。ご清聴よろしくお願いいたします。前回までに町の子供たちが将来の夢に向かって、たくましく生きていくための、小学校中学校の適正な規模について話し合いを進めてきました。前提として、私達が隠岐の子供たちの目指す子ども像といいますか、隠岐の子供たちどんな子供に育てほしいかということ、そういうことを元に、適正な規模を考えてきました。小学校は20人、中学校は25人ということで決定して、今後、町の将来に向けて、学校の統合とか配置についてこれから協議していく、そういう段階になっております。事務局からも、今後の児童生徒数の推移について表にしてまとめてありますので、また後ほどご説明いただきながら、将来の学校のあり方や小・中学校のあり方について検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

### 2. 町の施策について（隠岐の島町の総合振興計画について）

【事務局】ありがとうございました。それでは早速ですが先ほど委員長のご挨拶でもありましたように、本日は前回会議で小・中学校のあり方に関する検討委員会で検討を進めていくために、町の政策についても、理解した上で今後の方針を検討していく必要があるというご意見がございましたので、地域振興課長にお越しいただいてお話をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【地域振興課長】資料及び総合振興計画概要版をもとに説明。

（説明内容の要約）

- ・計画期間は10年で、現在5年目であり、後期計画の策定作業中である。
- ・人口ビジョンについて、過去10年で12.2%減少し、年間平均180名程度減少している。
- ・合計特殊出生率は全国平均を上回る2.03だが、人口減少が続いている。

- ・地域おこし協力隊の活動について、過去5年間の定住率が91.7%と高い実績を示した。
- ・地域活性化補助金について、94地区に総額3,212万9,000円を交付した実績を報告した。

(質疑・回答の要約)

- ・総合振興計画は、学校の統廃合を見据えた計画の策定の仕方をしているか否か。  
→学校の統廃合を想定し、策定したものではない。
- ・旧町村（都万、五箇、布施、中村）の過疎化が進む中で学校統廃合をどう進めるか心配しているところもある。一方で総合振興計画の中に人口推移予想がされているが、町としてはどのくらいの人口規模が適正だと認識しているか。  
→全国的に人口が減少する中で、本町が目標達成できるとは思っていないが、できる限りの人口減少対策は行ってまいりたい。
- ・地域おこし協力隊を毎年度募集しているようだが、募集目標人数があるのか。  
→目標人数は定めてないが、できる限り多くの方を採用したいと考えている。
- ・例えばだが、学校統廃合によって地域から学校が無くなれば、地域振興施策に影響があるか。  
→学校統廃合については想定していない。

※質疑及び回答を抜粋して記載してあります。

【事務局】ありがとうございました。また、質問及び確認事項がありましたら地域振興課へお問い合わせください。

橋本地域振興課長退席

【委員長】それではこれから、将来の学校の児童・生徒数の推移を見ながら、小学校の規模や配置について検討することとなります。事務局の方で今後の児童数・生徒数の推移についてまとめてありますので、説明をお願いしたいと思います。私の要望で今年度と、5年後、10年後について集計をしています。今回までの資料で、年度ごとの推移については、既に配布されていますが、話し合いを進めていく上で、できるだけ単純化して5年後、10年後の児童・生徒数をまとめております。事務局の方で説明をお願いします。

【事務局】小学校児童数の推移：

西郷小学校は現在12クラスから5年後には10クラス、10年後には6クラスになる見込み。

有木小学校は現在26人の全校生徒が、5年後には69人、10年後には31人になる見込み。ただし、県職員住宅や警察官舎の住民の異動を考慮すると、実際の人数は少なくなる可能性がある。

中学校生徒数の推移：

西郷中学校は現在6クラスから10年後には5クラスになる見込み。

南中学校は現在4クラスから5年後には3クラス、10年後には5クラスになる見込み。ただし、県職員住宅や警察官舎の住民の異動を考慮すると、実際の人数は少なくなる可能性がある。

【委員】有木小学校から西郷小学校に校区外申請を提出した子供たちが、中学校に入学するときは、元の校区の西郷南中学校に行かずに西郷中学校に行っているのか、そんな数字はわからないんですかね。西郷中学校に行っているのか、本来の校区である西郷南中学校に戻ってきてるか。

【事務局】今回は把握していません。

【委員】色々です。部活動の意向もあって、西郷中学校に行ったり、西郷南中学校に行ったりと。例えばバスケットがしたいからとかブラスバンドがしたいからとか。調べれば、傾向が出るかもしれませんが、その時々だと思います。

【委員】子どもたちが校区外で西郷小学校入学した子は大半が西郷中学校でそのまま友達と一緒に西郷中学校に行くのが多いと思うが、はっきり言えないとなると、この10年後の西郷南中学校の数も変わってきますね。

【委員長】この資料を基に、将来の小中学校のあり方について教育委員会へ提言するために意見をまとめることが目的ですが、提案を行うため、忌憚のない意見を頂きたい。本日、この会で意見を伺うのは難しいため、提案書を準備しているので次回会議までに事務局に提出し意見をまとめて提出したいがよろしいでしょうか。

【各委員】異議なし

【委員長】では次回会議の日程を決定し、この提案書のメ切を設定したいと思います。

次回会議日程を決定した。

令和6年11月27日 13時30分から 303会議室

提案書の締め切りを設定した。

令和6年11月15日（金）

【委員長】予定時間より早く終わりましたが、提案書の提出よろしくお祈いします。以上で終わります。ご苦勞さまでございました。

全てを終了した。